



平成26年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ドンキホーテホールディングス
コード番号 7532 URL <http://www.donki-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 安田 隆夫
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 高橋 光夫

TEL 03-5725-7588

四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・金融機関向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年6月期第3四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期	461,776	7.9	28,938	10.7	29,816	11.6	18,764	14.9
25年6月期第3四半期	428,070	4.8	26,138	12.3	26,728	17.1	16,333	2.7

(注) 包括利益 26年6月期第3四半期 21,793百万円 (12.5%) 25年6月期第3四半期 19,363百万円 (18.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第3四半期	240.25	238.79
25年6月期第3四半期	211.58	211.08

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年6月期第3四半期	431,338	190,170	42.9
25年6月期	386,622	170,178	43.0

(参考) 自己資本 26年6月期第3四半期 184,977百万円 25年6月期 166,344百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	10.00	—	23.00	33.00
26年6月期	—	10.00	—		
26年6月期(予想)				23.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	605,000	6.4	34,200	5.7	35,000	5.4	22,200	5.0	283.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年6月期3Q	78,347,780 株	25年6月期	77,863,880 株
② 期末自己株式数	26年6月期3Q	1,244 株	25年6月期	1,244 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年6月期3Q	78,100,953 株	25年6月期3Q	77,197,732 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成25年7月1日～平成26年3月31日)におけるわが国経済は、政府による各種政策により、企業業績が幅広く改善しており、設備投資も企業業績の改善等を背景に持ち直し傾向にあることから、景気の回復基調が続くことが期待されています。一方で、平成26年4月から実施された消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動及び海外景気の下振れリスクなど、先行きに対する不透明な状況が続いています。

小売業界におきましては、雇用・所得環境は改善傾向にありますが、平成26年4月から実施された消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動や社会保障費の負担増などにより、消費マインドが弱い動きとなっております。そのため、多様化する顧客ニーズはもとより、節約志向に対しても、迅速で柔軟に対応する「変化対応力」がますます重要な状況になってきました。

このような状況の中で、当社は「顧客最優先主義」を実践する業態創造企業として、高品質のアミューズメントとサービス及びプライスを常に進化させながら、お客さまに「感激」していただける店舗運営実現のため、さまざまな施策を実行してまいりました。

また、お客さまの行動や嗜好の変化にあわせて、買い回り品はもとより、食料品や日用雑貨品といった最寄品に至るまで、品揃えの充実を図りながら、リーズナブルな価格提案を行うことにより、お客さま支持率を高めてまいりました。

さらに、立地特性や商圈規模に対応した最適な店舗フォーマットを機動的かつ効率的に展開するとともに、プライベートブランド「情熱価格」の販売を拡大するなど、グループ総合力を強化してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の店舗の状況につきましては、関東地方に7店舗(東京都ドン・キホーテ東雲店、同吉祥寺駅前店、同浅草店、ピカソ小岩駅前店、MEGA東久留米店、神奈川県ドン・キホーテ日吉店、MEGA狩場インター店)、北海道地方に1店舗(北海道-MEGA札幌新川店)、東北地方に1店舗(青森県ドン・キホーテ弘前店)、中部地方に1店舗(愛知県-MAGA岡崎店)、近畿地方に1店舗(大阪府-MEGA富田林店)、四国地方に1店舗(香川県ドン・キホーテ丸亀店)、九州地方に3店舗(熊本県-MEGA菊陽店、沖縄県ドン・キホーテ国際通り店、MEGAうるま店)と合計15店舗を開店し、さらに平成25年9月30日に米国ハワイ州及びカリフォルニア州でスーパーマーケットを展開するMARUKAI CORPORATIONの株式取得に伴い11店舗を取得しました。その一方で、2店舗(ドン・キホーテ環七梅島店、同内環深江店)を休業しており、事業効率の見直しにより1店舗(ドン・キホーテ新津田沼駅前店)を閉店しました。また、入間店(埼玉県)については、経営主体をドイツ㈱から㈱ドン・キホーテに移転しております。

この結果、平成26年3月末時点における当社グループの店舗数は、280店舗(平成25年6月末時点 255店舗)となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高4,617億76百万円、営業利益289億38百万円、経常利益298億16百万円、四半期純利益187億64百万円となりました。

セグメントの業績については、①リテール事業における売上高は4,451億54百万円、営業利益は230億94百万円、②テナント賃貸事業における売上高は125億99百万円、営業利益は52億23百万円、③その他の事業における売上高は40億23百万円、営業利益は25億1百万円となりました。

なお、当社は、さらなる成長のために、各事業会社の権限及び責任体制の明確化を図るとともに、機動的かつ柔軟な経営判断を可能にするグループ運営体制を構築することが望ましいと判断し、平成25年12月2日付で純粋持株会社体制へ移行しております。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円未満四捨五入)

	平成25年6月前期末	平成26年3月当四半期末	増減額
資産合計	386,622	431,338	44,716
負債合計	216,444	241,168	24,724
純資産合計	170,178	190,170	19,992

1. 資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末(平成26年3月31日)における財政状態において、総資産は前連結会計年度末(平成25年6月30日)と比較し、447億16百万円増加して、4,313億38百万円となりました。これは主として、現金及び預金が179億22百万円及び有形固定資産が192億11百万円増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末と比較し、247億24百万円増加して、2,411億68百万円となりました。これは主として、買掛金が93億66百万円、借入金が55億66百万円及び債権流動化に伴う支払債務が295億90百万円増加した一方で、社債が182億40百万円減少したことによります。

純資産は、前連結会計年度末と比較し、199億92百万円増加して、1,901億70百万円となりました。

2. キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動により得られた資金は、純利益の計上、減価償却費の計上及び仕入債務の増加といった増加要因があった一方、売上債権の増加及び法人税等の支払額といった減少要因により、289億26百万円となりました。

投資活動に使用した資金は、有形固定資産の取得及び子会社株式の取得により、268億79百万円となりました。

また、財務活動により得られた資金は、債権流動化による収入といった増加要因があった一方、社債の償還及び配当金の支払額といった減少要因により、133億58百万円となりました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、520億99百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績の進捗状況及び今後の動向を勘案し、平成26年2月5日付の「平成26年6月期 第2四半期決算短信」で公表しました平成26年6月期の通期の連結業績予想について下記のとおり修正します。

(平成26年6月期 通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想(A)	596,300	34,200	34,800	21,800	278	80
今回修正予想(B)	605,000	34,200	35,000	22,200	283	36
増減額(B-A)	8,700	—	200	400	—	—
増減率(%)	1.5	—	0.6	1.8	—	—
前期実績	568,377	32,369	33,201	21,141	273	47

当社グループが事業を遂行している限り、様々なリスクや不確実性が伴います。そのため、実際の業績に影響を与える重要な要因として、当社及び当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向等が考えられます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第3四半期連結累計期間において、MARUKAI CORPORATIONの株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,698	49,620
受取手形及び売掛金	5,371	8,469
買取債権	6,738	5,317
商品	85,997	86,617
その他	13,625	16,199
貸倒引当金	△38	△54
流動資産合計	143,391	166,168
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	66,097	74,876
工具、器具及び備品(純額)	11,008	12,404
土地	107,905	115,085
その他(純額)	1,084	2,940
有形固定資産合計	186,094	205,305
無形固定資産		
のれん	4,640	5,984
その他	7,334	8,968
無形固定資産合計	11,974	14,952
投資その他の資産		
投資有価証券	5,137	4,557
敷金及び保証金	31,762	31,009
その他	10,680	11,122
貸倒引当金	△2,416	△1,775
投資その他の資産合計	45,163	44,913
固定資産合計	243,231	265,170
資産合計	386,622	431,338

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	48,036	57,402
短期借入金	14,286	19,269
1年内返済予定の長期借入金	11,726	11,734
1年内償還予定の社債	20,130	6,380
1年内償還予定の転換社債	350	—
債権流動化に伴う支払債務	—	4,296
未払法人税等	6,746	6,193
ポイント引当金	221	257
その他	19,675	18,931
流動負債合計	121,170	124,462
固定負債		
社債	48,640	44,500
長期借入金	31,374	31,949
債権流動化に伴う長期支払債務	—	25,294
デリバティブ債務	65	48
役員退職慰労引当金	337	355
資産除去債務	2,521	3,254
負ののれん	964	653
その他	11,373	10,653
固定負債合計	95,274	116,706
負債合計	216,444	241,168
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,613	21,298
資本剰余金	23,416	24,101
利益剰余金	123,207	139,399
自己株式	△3	△3
株主資本合計	167,233	184,795
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	736	609
為替換算調整勘定	△1,625	△427
その他の包括利益累計額合計	△889	182
少数株主持分	3,834	5,193
純資産合計	170,178	190,170
負債純資産合計	386,622	431,338

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
売上高	428,070	461,776
売上原価	314,996	340,074
売上総利益	113,074	121,702
販売費及び一般管理費	86,936	92,764
営業利益	26,138	28,938
営業外収益		
受取利息及び配当金	423	403
負ののれん償却額	500	311
その他	1,127	1,345
営業外収益合計	2,050	2,059
営業外費用		
支払利息	1,131	847
その他	329	334
営業外費用合計	1,460	1,181
経常利益	26,728	29,816
特別利益		
固定資産売却益	3	214
訴訟和解金	37	22
その他	41	142
特別利益合計	81	378
特別損失		
固定資産売却損	125	—
固定資産除却損	102	325
店舗閉鎖損失	130	205
減損損失	24	19
その他	146	157
特別損失合計	527	706
税金等調整前四半期純利益	26,282	29,488
法人税、住民税及び事業税	9,169	11,089
法人税等調整額	30	△2,321
法人税等合計	9,199	8,768
少数株主損益調整前四半期純利益	17,083	20,720
少数株主利益	750	1,956
四半期純利益	16,333	18,764

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	17,083	20,720
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,768	△125
為替換算調整勘定	512	1,198
その他の包括利益合計	2,280	1,073
四半期包括利益	19,363	21,793
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,605	19,836
少数株主に係る四半期包括利益	758	1,957

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	26,282	29,488
減価償却費	8,132	8,264
減損損失	24	19
負ののれん償却額	△500	△311
引当金の増減額(△は減少)	△127	△195
受取利息及び受取配当金	△423	△403
支払利息	1,131	847
売上債権の増減額(△は増加)	△284	△1,567
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,003	815
仕入債務の増減額(△は減少)	2,618	8,631
その他	3,337	△4,188
小計	39,187	41,400
利息及び配当金の受取額	311	306
利息の支払額	△1,289	△985
災害損失の支払額	△168	—
法人税等の支払額	△10,249	△11,795
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,792	28,926
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	6,167	7
有形固定資産の取得による支出	△25,409	△23,446
有形固定資産の売却による収入	720	1,945
無形固定資産の取得による支出	△287	△1,890
敷金及び保証金の差入による支出	△970	△831
敷金及び保証金の回収による収入	581	735
出店仮勘定の差入による支出	△284	△458
投資有価証券の売却による収入	15	423
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△2,507
貸付けによる支出	△104	△1,133
その他	△556	276
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,127	△26,879
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	10,121	4,631
長期借入れによる収入	11,500	20,500
長期借入金の返済による支出	△10,733	△21,009
社債の発行による収入	21,590	1,960
社債の償還による支出	△23,319	△19,890
転換社債の償還による支出	—	△350
債権流動化による収入	—	30,869
債権流動化の返済による支出	—	△1,525
株式の発行による収入	607	1,370
配当金の支払額	△2,392	△2,573
少数株主への配当金の支払額	△630	△552
その他	△22	△73
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,722	13,358
現金及び現金同等物に係る換算差額	324	562
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	14,711	15,967
現金及び現金同等物の期首残高	29,973	36,132
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	44,685	52,099

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	リテール	テナント 賃貸	計				
売上高							
外部顧客への売上高	412,031	12,230	424,261	3,809	428,070	—	428,070
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	2,024	2,026	2,776	4,802	△4,802	—
計	412,033	14,254	426,287	6,585	432,872	△4,802	428,070
セグメント利益	20,371	4,004	24,375	1,714	26,089	49	26,138

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、マーケティング事業、携帯機器販売事業、金融サービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額49百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	リテール	テナント 賃貸	計				
売上高							
外部顧客への売上高	445,154	12,599	457,753	4,023	461,776	—	461,776
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	4,462	4,462	2,949	7,411	△7,411	—
計	445,154	17,061	462,215	6,972	469,187	△7,411	461,776
セグメント利益	23,094	5,223	28,317	2,501	30,818	△1,880	28,938

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、マーケティング事業、金融サービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,880百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「リテール事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間において、MARUKAI CORPORATIONの新規連結により、新たにのれんが1,533百万円増加しております。

なお、のれんの増加額は、入手可能な合理的な情報に基づき暫定的に算定した金額であります。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

(連結子会社のMARUKAI CORPORATIONの株式取得による連結子会社化)

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び取得した事業の内容

被取得企業の名称 MARUKAI CORPORATION

事業の内容 小売業(スーパーマーケット等の運営)、食品及び生活関連商品の開発・輸入・販売

(2) 企業結合を行った主な理由

米国ハワイ州及びカリフォルニア州でスーパーマーケット11店舗を展開するMARUKAI CORPORATIONを連結子会社化することにより、北米での業務を拡大し、さらに本株式取得を当社グループの本格的なグローバル成長戦略の第一歩として位置づけ、事業価値の大幅な向上が実現できるものと考えております。

(3) 企業結合日

平成25年9月30日

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 結合後企業の名称

MARUKAI CORPORATION

(6) 取得した議決権比率

・取得前 0%

・取得後 100%

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる取得した事業の業績の期間

平成25年10月1日から平成25年12月31日まで

被取得企業の決算日は3月31日であり、連結決算日と3ヶ月異なっております。支配獲得日が平成25年9月30日であることから、取得した事業の業績は平成26年1月1日から平成26年3月31日までの期間について連結上必要な調整を行っております。

3. 取得した事業の取得原価及びその内訳

取得原価：3,723百万円(現金 3,723百万円)

(注) 取得原価については、暫定的に算定された金額であります。

4. 発生したのれんの金額、発生金額、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん金額

1,533百万円

(注) のれん金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(2) 発生原因

取得原価が企業結合時における時価純資産を上回ったため、その差額をのれんとして認識しております。

(3) 償却方法及び償却期間

20年間にわたる均等償却

5. 取得原価の配分

当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、その時点で入手可能な合理的情報に基づき暫定的な会計処理を行っております。